



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

大和中ロータリークラブ会報

LET SERVICE LIGHT THE WAY

奉仕の灯で道を照らそう
R.I 会長 James L. Bomar Jr.

第 60 回 例会 1979 年 8 月 30 日 (木) 雨 第 65 号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
28 名	24 名	78.54%	96.39%
欠席者 袴田, 長谷川, 木崎, 近藤, 松本, 寺田			

芦田会長テーマ 友愛と協調

司会 芦田会長

ソングリーダー 辻 国明君

「それこそロータリー」 「うみ」

ビジター

上野次郎君 (横浜瀬谷) 吉田富雄君 (座間)

会長報告

- ・ R I 会長より、3 H 計画事業についての資金調達に協力要請がありました。(回覧)
- ・ 1980 年 6 月 1 日～5 日に年次大会がシカゴで行われますが、その前の 1 週間を米国、カナダ、バミューダ地域内の RC がホストとして出席会員との交流を深めたいとの意向です。国際大会出席予定で、上記御希望の方は、幹事まで御連絡下さい。
- ・ 地区事務所から、本年度上半期の事業費、分担金及び青少年交換事業費等の納入について感謝の書面がきています。(回覧)
- ・ 大和市青少年球技大会にトロフィーを贈呈しましたが、佐藤副会長から贈呈の写真と、大和市教育委員会及び大和市青少年指導協議会から感謝の書面を頂きました。(回覧)
- ・ 世界社会奉仕について韓国の身障少女の生涯、母の献身看護の手記が第 7 分区 (東京府中, 小

金井, 調布, 三鷹, 狛江) 5 クラブで出版し (一部 800 円) たので皆さんのご協力をお願いします。
ご注文の方は事務局までお申し出下さい。

幹事報告

- ・ 一般会員の方でも、理事役員会の開催時に入室することが出来ます。見学のつもりで是非出席して下さい。
- ・ 年次大会 1979～1980 は当クラブはほとんどの方が、出席になりましたので、ご協力有難うご座居ました。
- ・ ロータリー日本五十年史の御案内 一回覧一

委員会報告

本日のプログラム (9月6日)

「日本のボーイスカウトについて」 稲葉睦美氏

次週予定 (9月13日)

「すぐに役立つスピードメモ法」 中根正雄氏

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

事務所 : 大和中央 1-5-40
及び 大和市商工会館内
例会場 電話 0462(63)7926

例会日 : 毎週木曜日 12 時 30 分より
会長 : 芦田 敬治 副会長 : 佐藤 実
幹事 : 北砂 富三 会報委員 : 上田・竹之内・郡司

プログラム委員会 土屋委員長

- 。9, 10月卓話はプリントのように予定しております。なお, 10月4日卓話小児科医を外科医長に訂正して下さい。
- 。9月27日, 10月25日小堀氏の卓話は1時間を予定しています。よろしく。

親睦活動委員会 中西委員長

- 。お祝いはお1人ですが欠席されていますので次週にします。
- 。10月7日家族会を予定しています。詳細は次週。

イニシェイションスピーチ

大和とともに

和風レストラン 石渡英二郎君

大正10年2月6日鎌倉市長谷に3男として生まれました。昭和15年現役入隊, 北支に2年半, ニューギニアに3年と転職し終戦, 軍隊生活5年余を経験し昭和21年復員しました。

昭和27年現在地 大和中央通り四ツ角住友銀行前に第一歩をしるしたのでした。当時大和は全くの未開地で天気が続けば砂じんが舞い, 雨が降れば泥んこのぬかるみと変り田舎町でした。それでも28年小さいながらも我が店舗を新築し有限会社「ゑびすや」を創立しました。当時は従業員4人で日本そばを主力として始めましたが, 道路は先程お話したような状態ですから, 下水設備も不完全でしたし, 仕事上の連絡をとりたくても電話は近しくなく, わざわざ電車に乗って瀬谷まで出掛けて行くという仕末でした。従って初期の頃はお客も少なく大変な苦勞をしたものでした。

幸い30才と若く, 結婚して日も浅く無我夢中で頑張りました。次の年には電話局も新設され街も少しづつ便利になり住み良い所になってきました。同時に仕事の方も進展し銀行借入を得て店を広げ「すし部」を新設しました。たゞ, すしについては初めての経験で商売符丁から覚えなくてはなりませんし築地市場仕入れについても1から勉強しました。仕入の場合は手指符丁で指の動作によって値段をきめるのです。すしの立喰いの時にはお客様のすぐ前で料理をする関係で数字符丁で調理

場内は通じる事になっております, 例えば1チョン, 2ブリ, 3ゲタ, 4ダリ, 5メノジ, 6ロンジ, 7セイナン, 8バンド, 9キク, まつのはちりうせず1~9までの符丁です。これは仕入れ上のほんの一こまです。そして商売も軌道にのり私なりになんとか順調に運営され住居も店より1分程の処に転宅し店の土地も買取ることが出来ました。次いでビル新築を計画して昭和46年には長い間の願望がかない地下1階, 地上4階のビルの完成をみたのでした。地下1F, はテナントとしてすし部, 1Fはそば, 2Fは洋食喫茶, 3Fは調理場, 4Fは会席場として5年程順調でしたが石油ショック以降の不景気と人件費の高騰などがからみ商売の一本化を考えたのです。いろいろ検討した上で現在の鮎忠にシステムを変更し和食レストランとして52年7月新装開店, 現在にいたっております。お蔭様にて今のところ業績も良くフランチャイズ百数十店舗の中でも上位で営業を続けさせて頂いています。更に頑張っていきたいと思っています。

私の職業と最近の医療についての考へ

内科医 有沢昭二君

私の職業については入会するとき, 紹介者の亀谷先生からお話がありましたので, 御承知のことと思います。中央林間で昭和42年から大和診療所を開設今日に至って居ります。内科小児科のごくありふれた普通の診療所です。御存知の方もいるかと思いますが, 以前古くから高橋医院と言うのがありまして, 女医さんですが仲々の事業家で, 秦野病院と言う精神科の病院を開設したので, そのあとをひきつぎ, 大和診療所を開いたわけです。それ以来12年になりますが「ファミリードクター」と自覚し現在までやって参りました。

最近医師を「一般医」と「専門医」とにわける考え方があります。今日の医学の進歩はまことにめざましいものがあります。専門各科の技術が進めば進むほど細分化します。そのことは必要なことですがそれを選択する総合化がないと困ります。病気は何時どこでどんなふうになるかわかりませ

ん。とにかく初発症状を診て、全体的立場で診断しなければ困るわけです。実は病気の最初は、「一般医」に診てもらったことが多いと思います。「一般医」とは悪く言えば「何んでも屋」であり、地域に定住する「かゝりつけの医者」でもあり、いわゆる「家庭医」でもある。そこで最初に診断され、条件により振り分けられて、それぞれ必要な病院の専門医に送られる、これが本筋なのです。ところが我が国の医療システムではまだこれが出て来て居りません。「病院」と「診療所」の機能分化が出来ていないのです。だから何んでもない風邪だとか、ちょっとした家庭でも直せそうな怪我でも大病院を訪れたりすると、病院では重病人の治療をするのに支障を来したり混雑するのです。最近マスコミで「プライマリーケア」とか「セカンダリーケア」ということを記事にして居ります。「プライマリーケア」の第一線は「一般医」であり「セカンダリーケア」は即ち「専門医」の分担である。その分担と連携が明確化されて居りません。又医療システムの「地域化」ということが言われ、所謂「地域医療」の考へ方の根拠の一つがこゝにあるわけです。

我が国の明治以来の開業医制度が自由企業の原則に従って行われているとは言へ、なんとと言っても、医療は普通の商売とは違います。もっと公共性とヒューマンズムがうたわれなければならないと思います。しかし「医は仁術」では無く「算術」になったとジャーナリストの鋭く指摘するところですが、医師にとっては、耳の痛い言葉ですが、しかしよく考えてみると、医療は医者のためにあるのではなく、患者即ち一般国民のためにあるのだからこう言う批判に対してまじめに耳をかたむけるべきではないでしょうか。「素人は黙っとれ」の姿勢は間違っています。人の命をあずかるという特殊な仕事の立場を利用しその上にあぐらをかいてはなりません。進んだ専門的技術の修得を私的なものと錯覚して、権威をふりかざすのはもっての外、今日の医者はずっと謙虚になるべきだと思います。

ロータリー情報

**保健、飢餓追放、および人間性尊重のプログラム
創立75周年記念基金**は次のような使途に充てられます。

- 一つのクラブや地区、あるいはクラブや地区のグループをもってしても大きすぎるような大規模の国際的奉仕プロジェクトに対する援助。
- 開発途上国における大規模な免疫プロジェクトに対するワクチンおよび資材の提供。
- 栄養、社会、人間の向上発展を目的としたプロジェクトに対する資材、人および教育用品の提供。
- 3-Hに関するプロジェクト、とくに自国以外の国におけるプロジェクトのために、進んで自分の時間と専門的技術や知識を提供するロータリアンに対する基本的な資金の援助の提供。
- ロータリーによる援助が打ち切られたあとも存続できるような長期的かつ自立的なプロジェクトに対する資金の提供。

ロータリーは子供を大切にす

国際ロータリー保健、飢餓追放、および人間性尊重のプログラムによる最初のプロジェクトは、すでに75周年記念基金によせられた寄付によって着手できるようになっていますが、1979年国際児童年と呼応して実施する趣旨から、開発途上国の児童に免疫性を与えることを目的とした大規模なプロジェクトとすることになっています。

開発途上国100カ国の8億にのぼる児童がわれわれの援助を必要としているはずであります。

開発途上国では、刻々と生れてくる子供100人のうち、

- 20人は1カ年以内に死亡しており、
- あと育っていくもののうち、60人は医者にかかることもなく、栄養不良に陥り、それがとても酷くて、絶えず身体的、精神的障害の原因となっており、
- 学齢に達した児童10人のうち小学校教育を済ませることのできるものは、たゞの4人に過ぎないのであります。

いやしくも自分たちの生きているこの世界の平和を夢みる者として、こうした状態に目をつむることは決して許されないのであります。

各ロータリークラブは、保健、飢餓追放、および人間性尊重のプログラムを自分の地元の地域社会で実行することができます。各自のクラブでの実行が考えられるもの

- クラブに3-H委員会を設置して、そのクラブで行なうプログラムの立案に当たらせる。
- 地元における保健、飢餓追放、および人間性尊重に関するニードの調査を実施する。
- 保健、飢餓追放、および人間・社会の向上発展に関する面でのその土地のニードについて関係地方当局者と協議する。
- 地元地域社会の3-H関係のニードを満たすようなプロジェクトを選定する。りっぱな3-Hプロジェクトに対する特別表彰に関する基準や手続きについて、地区ガバナーが地区3-H委員会の委員長に問い合わせるようにして下さい。
- クラブまたは地元での集会で3-Hのスライドを見せる。スライド・セットはそのクラブの地区のガバナーか3-H委員会の委員長から貸してもらえることになっています。
- クラブの集会で、保健、飢餓追放、および人間性尊重のプログラムを中心にした講演会やプログラムを催すことにし、これに地元の有力者や公職者を招く。
- 地元で行なう3-Hのプロジェクトで「ロータリーは子供を大切にする」に関するものにはとくに注意して、自分のところのインターアクト・クラブやローターアクト・クラブの活動に合わせるようにする。
- 保健、飢餓追放、および人間性尊重のプログラムに関連したニードを満たすための奉仕活動を行なう開発途上国のクラブを援助することを目的とした世界社会奉仕のプロジェクトを考える。
- R.I 創立75周年記念基金のために3-Hの資金を集めるプロジェクトを主催する。

特定の基準に合致するすぐれた保健、飢餓追放、および人間性尊重のプロジェクトを主催または

それに参加したクラブには、表彰の年を表わす数字の入った3-Hの標章を贈ることになっています。この標章は、75周年記念基金への寄付に対して贈られる旗に取り付けられるようにしたものであります。

3-Hには、その推進にどうしても必要なものとして、**4番目の「H」**があります。それはHELP（協力）であります。有志の活動家、プロジェクトの推進者、とくにいま急がれている資金の後援者としての皆さんのクラブと皆さんの協力であります。

3-Hプログラムがどれほど大きなものになるかは、それを賄っていく資金の大きさしだいであり

スマイルBOX

横浜瀬谷RC 上野会員 始めてお伺い致しました、今後共よろしくお願い致します。

座間RC 吉田会員 お世話になります。

土屋会員 クラブに夢を贈ります（宝くじサマージンボ10枚）、もし当たったらニコニコです。

藤田会員 中国留学生のときのスナッフ郡司さん有難う又私達南林間で行われた秋祭りで猪熊さんの応援もあって大成功、大変うれしいです。

郡司会員 私ども会社のコンサルタント金本恒氏が日刊工業新聞社から「人間～機械システムのやる気と安全」と題して発刊しました。私の会社のことも事例としてのっておりますので、お祝いと共にスマイル、なお金本氏は戸塚RCの会員で当RCにも一度見えております。

保田会員 亀谷先生大変お世話になりました。検査の結果が良と出る様にスマイル致します。

竹之内会員 郡司会員写真を有難うご座居ます。

辻会員 秋の雨のようにシトシト降っている、こんな静かな例会は始めて。食事がゆっくりと出来たこと、会報の事務処理を早やめたことで。

中西会員 次男が交通事故にあいましたが、幸い軽症ですみましたのでスマイルします。